

TOSTEM

ガレージシャッター手動内部付
本体／ガイドレール／連窓方立

取付け説明書



MAP717

- 取付けされる方に必ずお渡しください。※内は、ロットNo.表示位置を示します。
掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

▲注意 …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

▲注意



●落下や倒れの原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。

- 必ず指定のねじを指定の本数使用し、取付けてください。
- 本体・サイドカバーの引っ掛け部を必ず本体固定金具に掛けてください。
- (連窓)落とし錠ケース・サムターン・箱錠・落とし錠受け・落とし錠裏板は、必ず指定のねじを指定の本数使用して取付けてください。
- (連窓)連窓方立は、必ず落とし錠受けに固定してください。
- (連窓)連窓方立は、必ず上部を連窓ブラケットに差込んでください。



●切創等のケガをするおそれがありますので、下記事項をお守りください。

- 取付け時およびスラットの横ズレを直す場合は、手袋をしてください。
- (連窓)連窓方立切断後、切断面を必ずバリ取りしてください。



●(木造直付・鉄骨造)シャッター本体を取付ける前に、枠の周りに防水テープが張っていることを確認してください。漏水の原因になります。

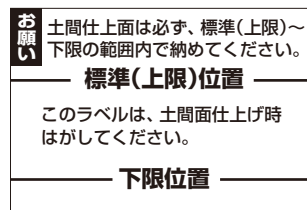
※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	サイドカバーの引っ掛け部を本体固定金具に引っ掛けましたか？	<input type="checkbox"/>
2	本体カバーは化粧まぐさから飛び出してないですか？	<input type="checkbox"/>
3	ロックはかかりますか？	<input type="checkbox"/>

取付け上のお願ひ

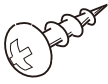

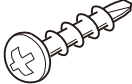
- シャッター取付け開口部の水平・垂直・対角寸法とねじれないことを確認してください。取付け開口部の精度が悪いと商品本来の性能を発揮できないばかりでなく、故障や破損の原因になります。
- 本製品を軒天内部に納める場合、必ず軒天点検口を設け、必ずボックス(点検口)およびガイドレールが外部から取外せる構造にしてください。外せない場合、メンテナンスができなくなります。
- メンテナンスができなくなるので、ケース・ガイドレール(埋込部以外)を埋込まないでください。
- ガイドレールが埋込み仕様の場合は必ず土間に埋込んでください。また、土間仕上げ面はガイドレール下部ラベルの標準位置内で仕上げてください。


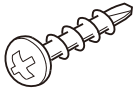
■ガイドレール下部ラベル(埋込み仕様のみ)




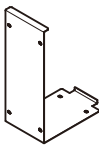
- モルタル施工の際、ガイドレールにモルタルが付着しないように指導してください。
- モルタルはくり剤はアルミ表面を傷めますので使用しないように指導してください。
- 枠部分の組立て・取付けについてはガレージ枠同梱の「取付け説明書」をご覧ください。

■ねじ一覧表

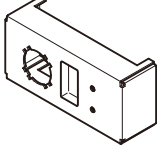
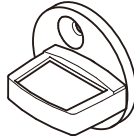
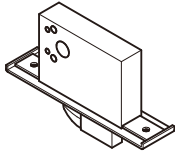
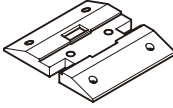
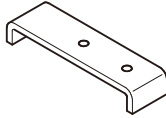



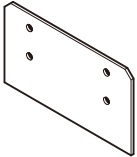
ガイドレール取付用 ㊦	本体取付用 ㊧	ケース取付用 ㊨
		
トラスタッピンねじ φ4×8(D9.4)	バインド小ねじ M4×12(D8.3)	バインドテクスねじ φ4×14

ガイドレール抜け防止金具	㊩
	
(埋込なしタイプのみ)	バインドドリルねじ φ4×14 (埋込なしタイプのみ)

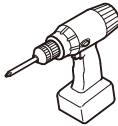
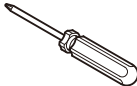
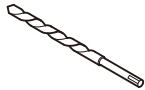
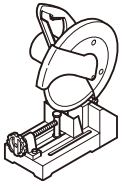
※ガイドレール抜け防止金具、㊩はシャッター内部付枠に同梱されています。

鍵	連窓用ケースカバー
	
中間ロック用	(連窓のみ)

■連窓方立同梱部品

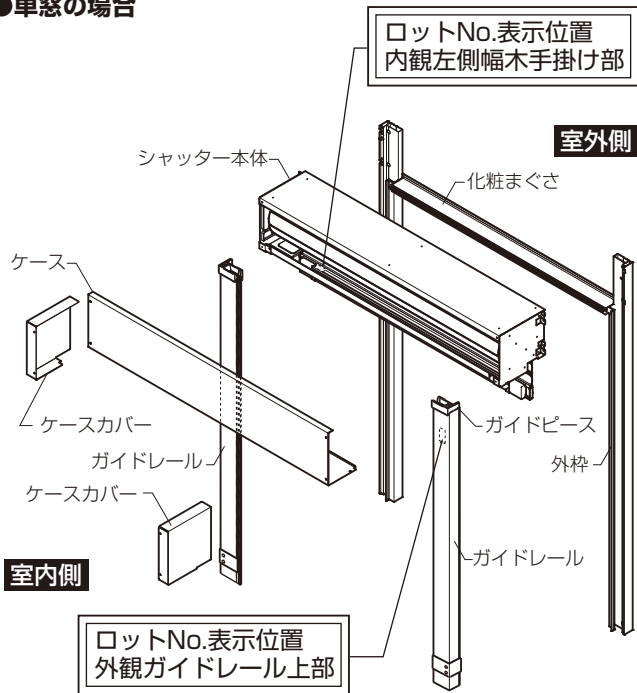
落とし錠ケース(1個)	サムターン(1個)	箱錠(1個)
		
落とし錠受け(1個)	裏錠(2個)	㊪
		
㊫	㊬	台紙(1枚)
		
トラス小ねじ M4×30(2本)	コンクリートアンカーねじ φ4×32(6本)	

■取付けに使用する工具一覧

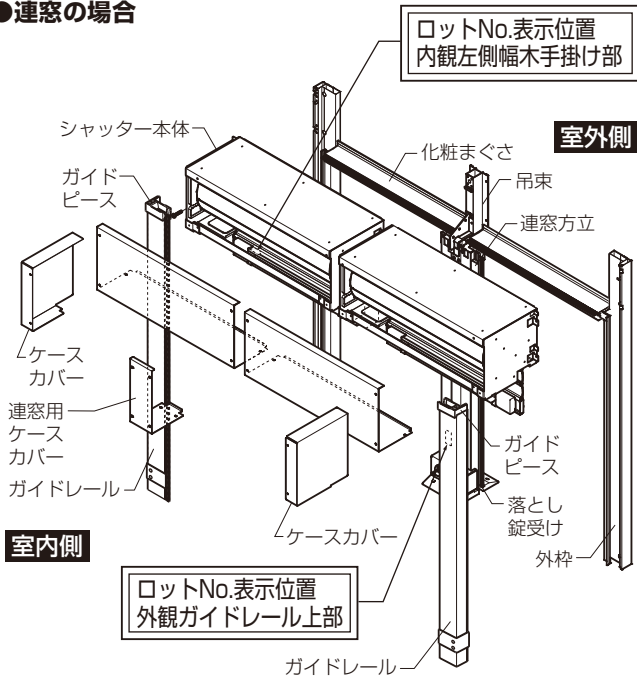
電動ドライバー	ドライバー (手回し)	ドリル刃	切断機
			
トルク調整付		・φ3.4 (コンクリート用) ・φ6.0 (連窓のみ)	(連窓のみ)

■構成図

●単窓の場合



●連窓の場合



■本体の取付け

▲注意



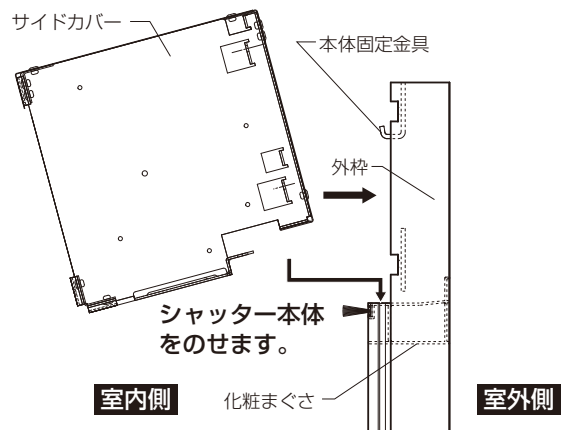
●本体取付けの際は、手袋をしてください。素手で行うとケガをするおそれがあります。



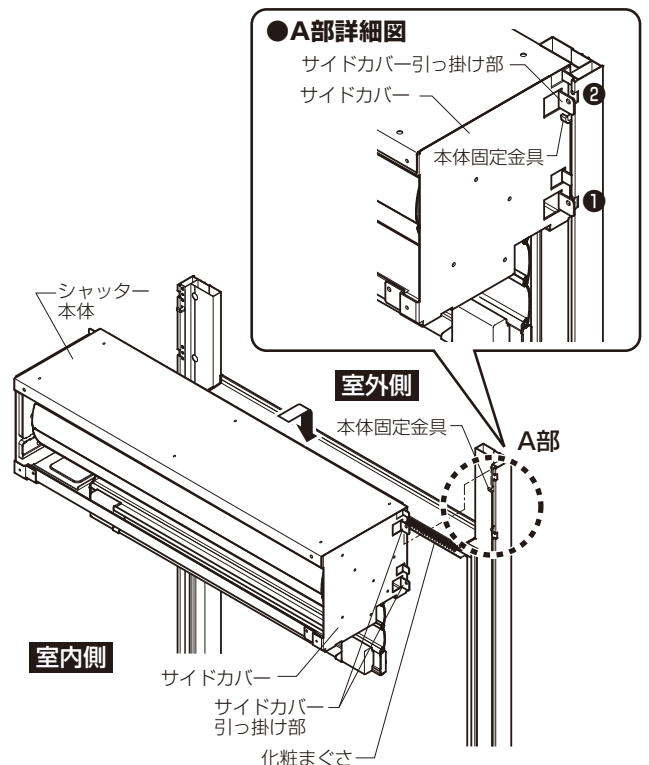
●本体サイドカバーの引っ掛け部を必ず本体固定金具に掛けてください。シャッター本体・シャッターボックスの脱落や漏水・変形による作動不良の原因になるおそれがあります。



- ①シャッター本体を化粧まぐさの上ののせます。
- ②本体サイドカバーの引っ掛け部①が外枠に当たるまで押込んでください。
- ③本体サイドカバーの引っ掛け部②が、本体固定金具に当たるまで押込んでください。
- ④本体サイドカバーの引っ掛け部②を本体固定金具に掛けてください。



●A部詳細図

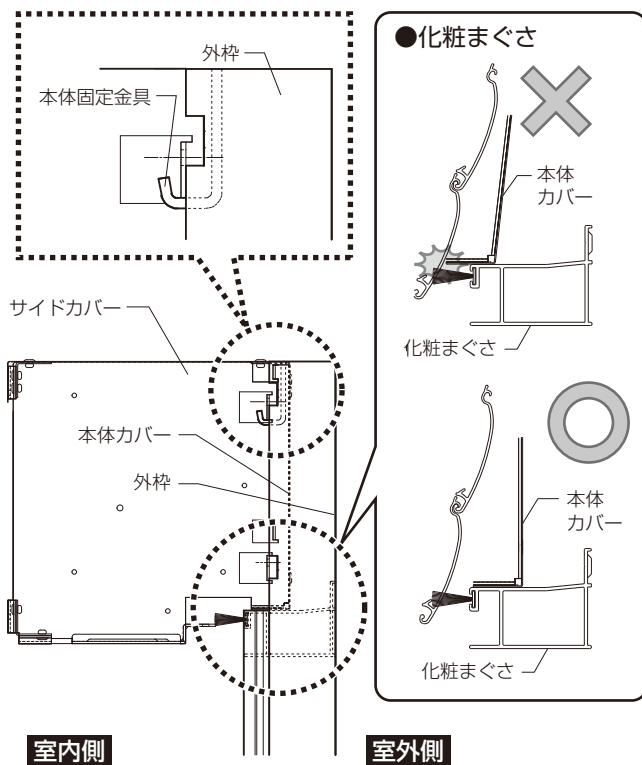
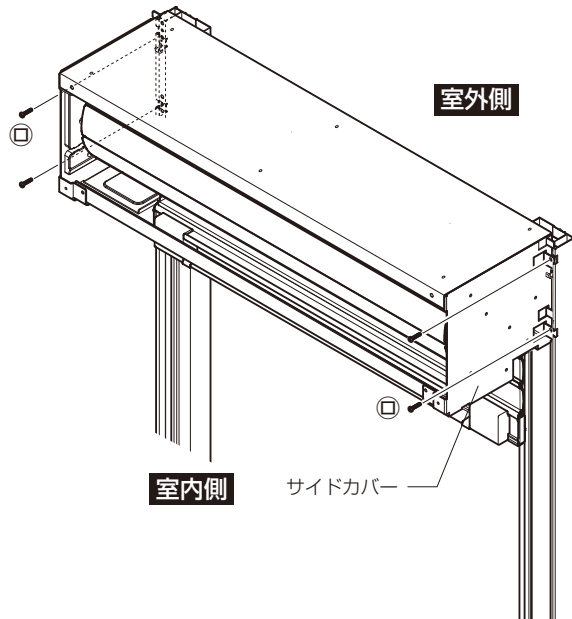


1 本体の取付け つづき

本体取付け上のお願ひ

●本体カバーが化粧まぐさから飛び出しているとスラットのキズや開閉不良の原因になりますので、全長にわたって本体カバーが化粧まぐさから飛び出していないことを確認してください。

⑤本体が本体固定金具に掛かっていることを確認して、㊶パインド小ねじM4×12でねじ止めします。



2 ガイドレールの取付け

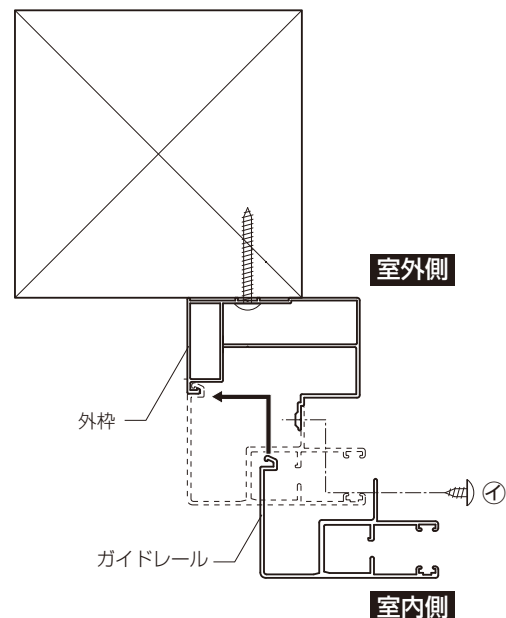
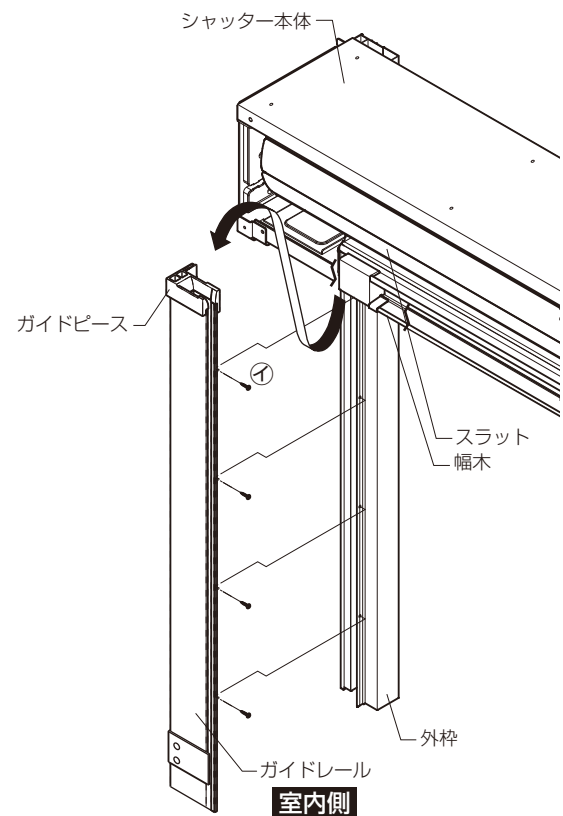
ガイドレール取付け上のお願ひ

●ねじ山がつぶれることがありますので、インパクトドライバなどは使用しないでください。

①幅木を引下げ、ガイドレールの上端(ガイドピース側)に幅木を引込み、そのままガイドレールの上端を本体内へ挿入します。

②ガイドレールをスライドさせ、外枠にはめ込み、①トラスタッピンねじφ4×8で固定します。

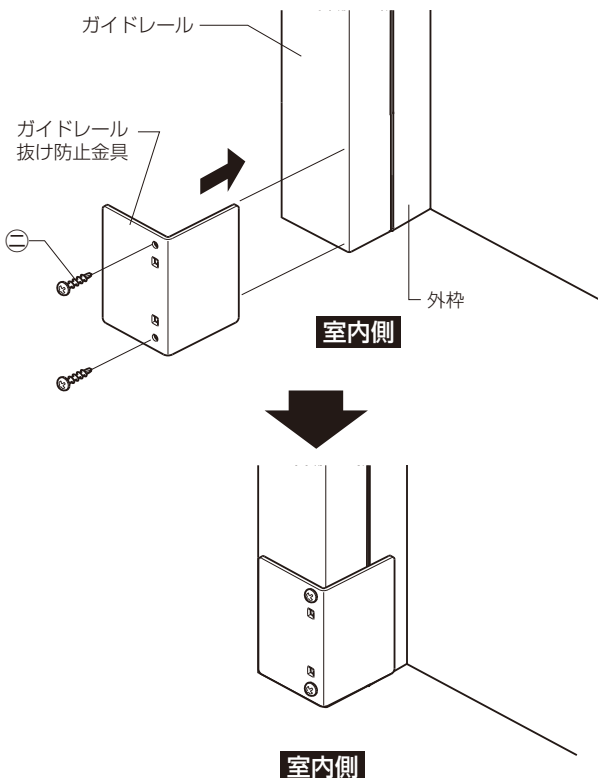
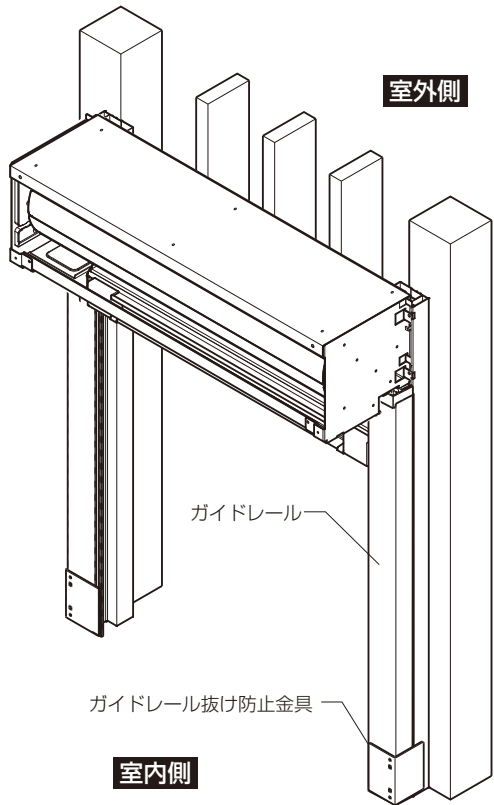
※取付け完了後、開閉作動チェックをしてください。引っ掛かりなどの支障がある場合は、「4 スラットの横ズレの確認」を行ってください。



3 ガイドレール抜け防止金具の取付け

●埋込なしタイプ

- ①ガイドレール下端にガイドレール抜け防止金具をあわせませす。
- ②ガイドレール抜け防止金具の丸穴部を⊖バインドリルねじφ4×14でねじ止めします。



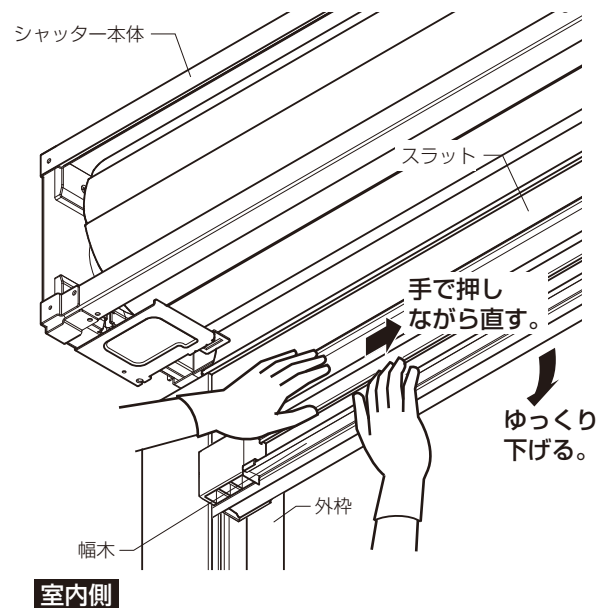
4 スラットの横ズレの確認

▲注意



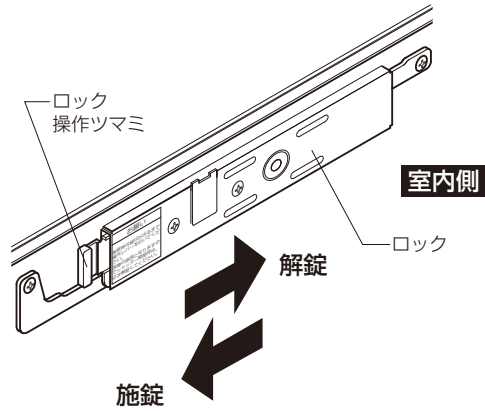
●スラットの横ズレを直す場合は、手袋をしてください。素手で行うとケガをするおそれがあります。

- ①幅木の中央を持ち、開口の1/3程度までスラットをゆっくり下げます。
※横ズレがある場合は、スラットを手で押しながら直してください。
※外枠・本体にスラットが引っ掛からないようにしてください。
※幅木が本体の中に巻込まれないようにしてください。
- ②スラットをゆっくり上げます。



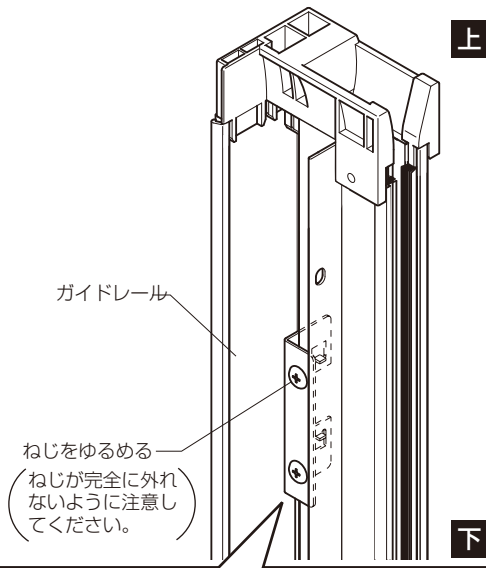
5 ロックの施錠、解錠の確認

- ①スラットをゆっくり下げて、幅木をガイドレール下部ラベルの土間仕上げ面標準位置に停止させます。(埋込なし仕様の場合は土間面に停止させます。)
- ②室内側のロック操作ツマミを左右に動かし、施錠および解錠ができるかを確認します。

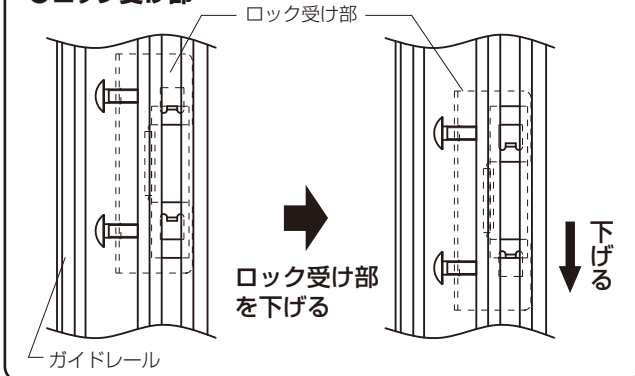


●ロック受け部調整方法

- ①ガイドレールを外します。
 - ②ガイドレール室内側面のねじをゆるめます。(ねじは完全には外さないでください。)
 - ③ロック受け部を移動します。
 - ④ロック受け部のねじを締めます。
 - ⑤ガイドレールを取付けます。
- ※ロックが掛らない場合は再度微調整してください。

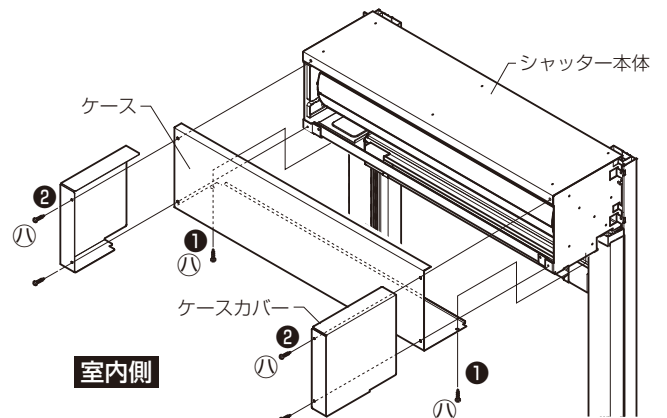
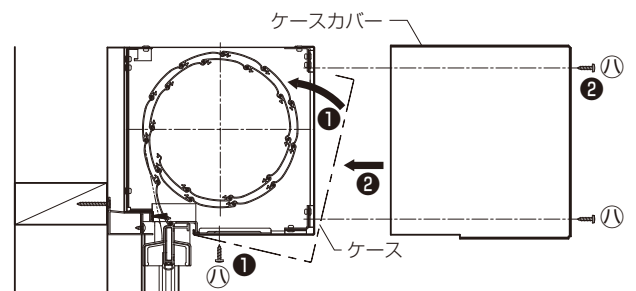
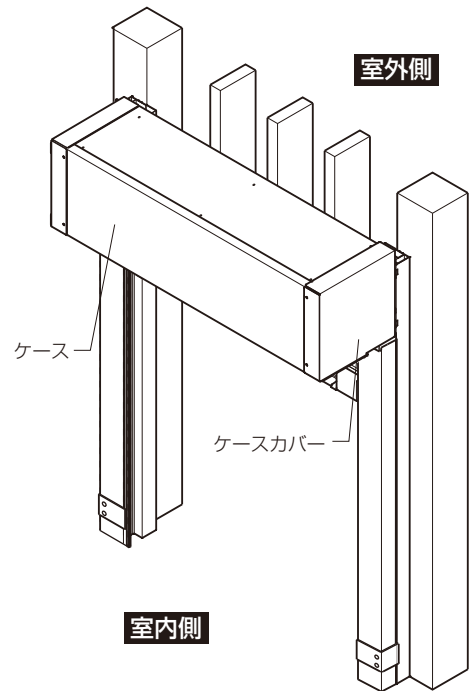


●ロック受け部



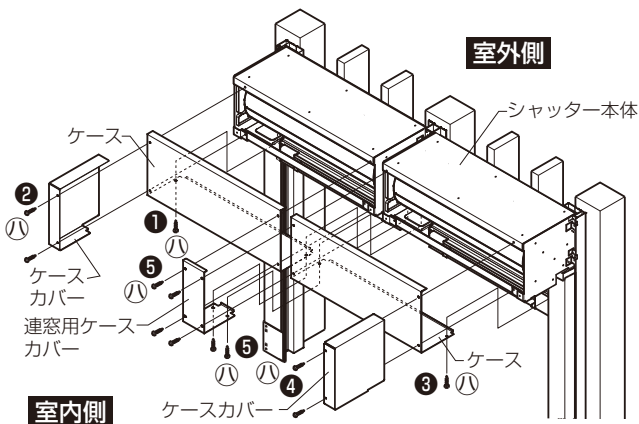
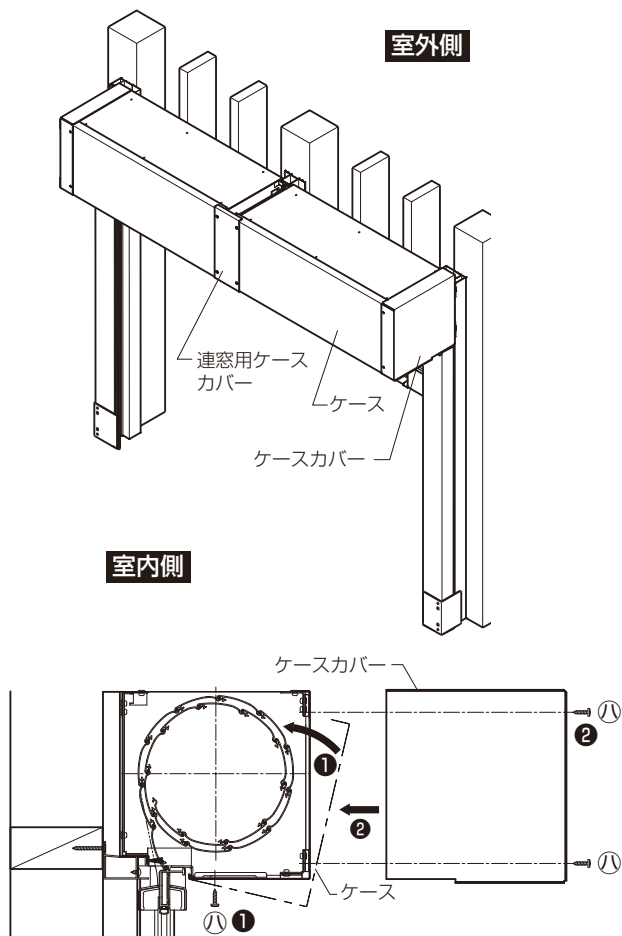
6-1 ケースの取付け【単窓の場合】

- ①ケースを正面下方からはめ込み、下面の取付け穴を㊶バインドテクスねじφ4×14で固定します。
※ケースカバーをねじ止めするまで、ケースを手で押さえておいてください。
- ②ケースカバーをかぶせケースと共に㊶バインドテクスねじφ4×14でねじ止めします。



6-2 ケースの取付け【連窓の場合】

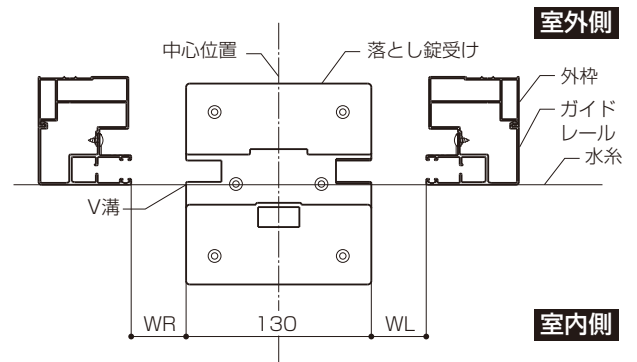
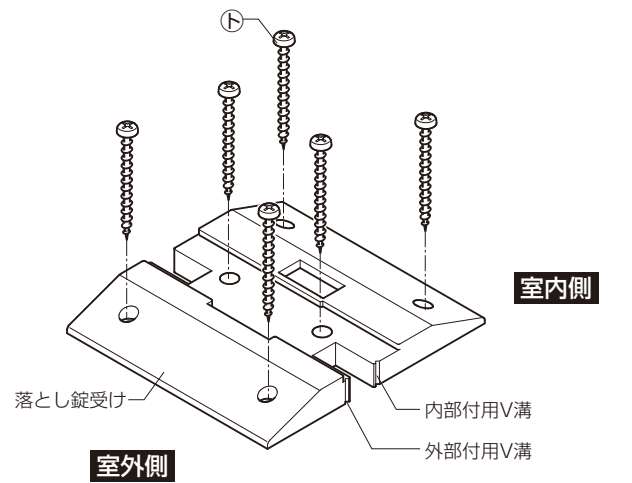
- ①片側のケースを正面下方からはめ込み、シャッター吊束と反対側の下面の取付け穴を㊶バインドテクスねじφ4×14で固定します。
※ケースカバーをねじ止めするまで、ケースを手で押さえておいてください。
- ②ケースカバーをかぶせケースと共に㊶バインドテクスねじφ4×14でねじ止めます。
- ③もう片側のケースを①と同じ手順で取付けます。
- ④ケースカバーをかぶせケースと共に㊶バインドテクスねじφ4×14でねじ止めます。
- ⑤シャッター吊束の箇所に連窓用ケースカバーをはめ込み、正面と下面から㊶バインドテクスねじφ4×14でねじ止めます。



7 落とし錠受けの取付け

※落とし錠受けの取付けは、土間が仕上がった後に行ってください。

- ①W開口(ガイドレール内々寸法)を測定し、中心位置の印を土間面につけてください。連窓するシャッターが左右均等でない場合は、WR・WLから位置を出してください。
※中心位置の印は、後で消えるようにエンピツなどで書いてください。
- ②ガイドレールの外部面に水糸を張り、水糸と落とし錠受けのV溝の合わせ位置を決めてください。
※外部付と内部付でV溝の位置が違います。
- ③取付け穴(6カ所)にコンクリートドリルφ3.4で下穴(深さ35mm～40mm)をあけてください。
- ④㊶コンクリートアンカーねじφ4×32(6本)で、落とし錠受けを固定してください。



8 連窓方立の切断

▲ 注意

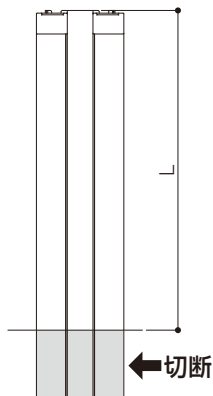
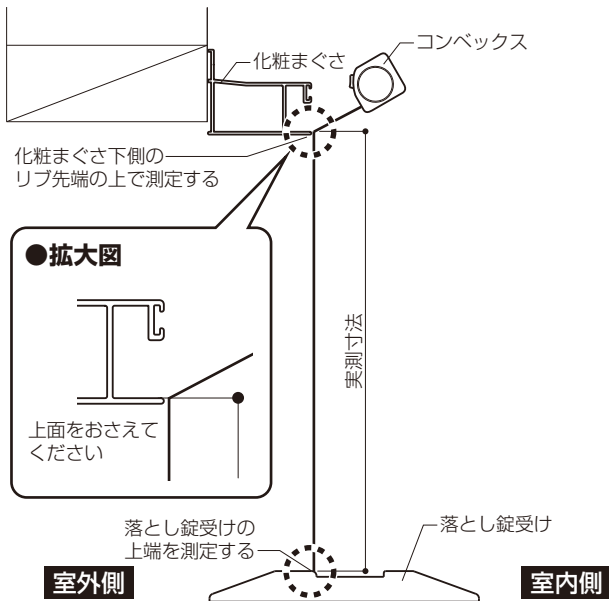


●連窓方立切断後、切断面を必ずバリ取りしてください。切創等のケガをす
るおそれがあります。

- ①化粧まぐさと落とし錠受けの間の寸法をコンベックスで測定してください。
- ②下記の切断寸法公式よりL寸法を算出して、連窓方立の下端より切断してください。

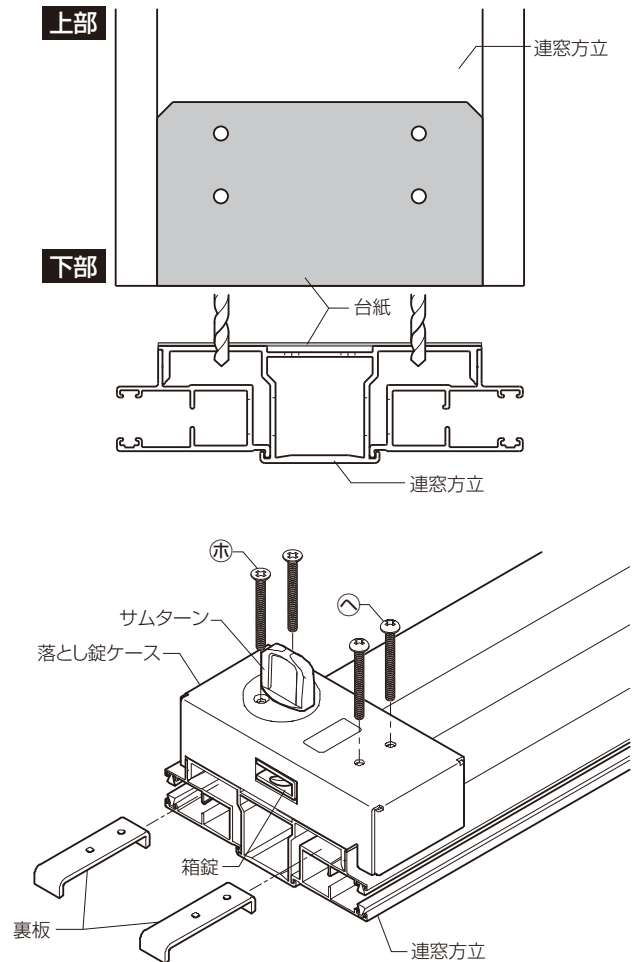
切断寸法公式

連窓方立L寸法 = 実測寸法 + 20mm



9 落とし錠の取付け

- ①切断した連窓方立に同梱している台紙を張付け、穴位置4カ所に印を付けます。
- ②φ6ドリルで印に穴を4カ所あけます。
- ③連窓方立に裏板を2個入れ、箱錠・落とし錠ケース・サムターンをセットして、㊶トラス小ねじM4×30(2本)、㊷皿小ねじM4×38(2本)で連窓方立に取付けてください。
※箱錠に入っているプレートは使用しません。



⑩連窓方立の取付け確認

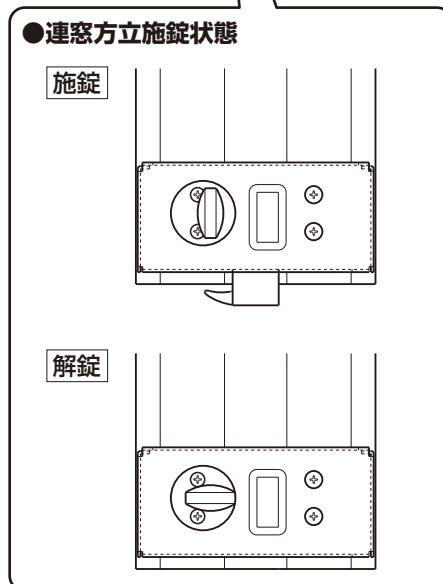
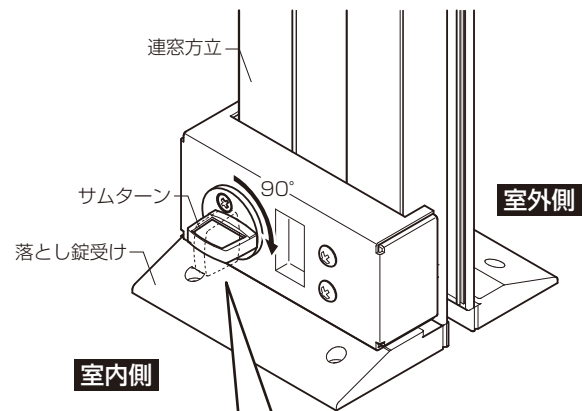
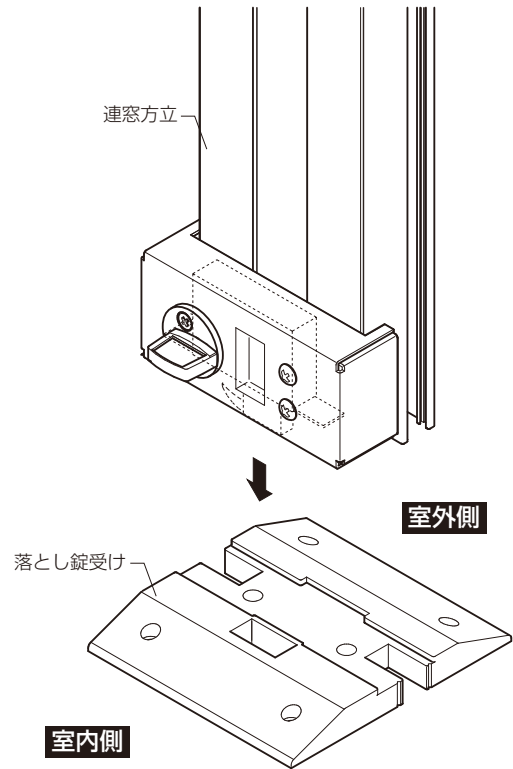
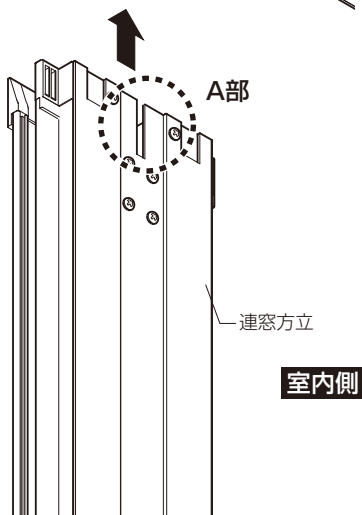
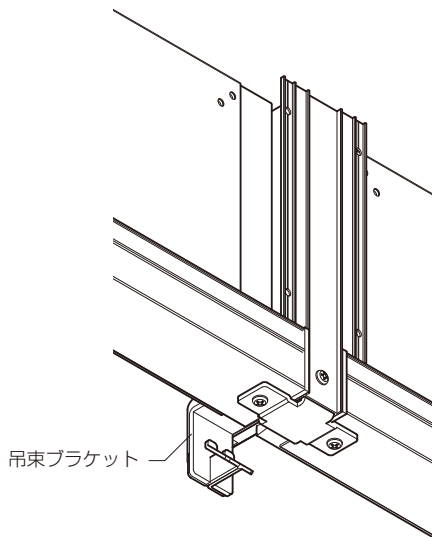
▲注意



- 脱落して人身事故や物損事故のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- ・必ず落とし錠受けに固定してください。
- ・必ず連窓方立の上部を連窓ブラケットに差込んでください。

※連窓方立は下記の手順で取付くことを確認してからお施主さまにお引渡しください。

- ①シャッターを全開にします。
- ②連窓方立のA部の溝を吊束ブラケットに差込みます。
- ③連窓方立を持ち上げながら、落とし錠受けにのせます。
- ④サムターンを右回しに90°回転させ、サムターンを垂直にしてロックをかけてください。



困った場合の対処(商品二次元バーコード情報)

製品ラベルの二次元バーコードを読み取ると、メンテナンス情報にアクセスできます。

※製品ごとに合わせた情報を公開しています。



●スマホ画面

○お客さまサポート

- ▲ 安全にお使いいただくために (+)
- ? よくあるお問い合わせ (+)
- ✓ お手入れ・お掃除 (+)
- 📄 取扱説明 (+)
- 🔧 調整方法 (+)
- ! 故障かなと思ったら (+)
- 🔧 施工説明 (+)
- 🛒 部品購入 (➡)
- 📞 お問い合わせ (+)
- 🛠️ 修理のご依頼 (➡)
- 👤 リクシルオーナーズクラブへのご登録 (➡)

MEMO

MEMO
